

コロナ禍を経て、新たな始まり

おにき かずこ
産業能率大学学長 鬼木 和子



今年3月、5年ぶりに学部別「卒業(謝恩)パーティー」(主催：各学部の卒業行事運営実行委員会)、両学部合同「学位授与式」(於：神奈川県民ホール)が実施されました。入学時からコロナ禍の環境にあった卒業生の皆さんにとっては、大学時代最後の貴重な思い出の一頁を飾ることができ、私共教職員も感慨無量でございました。4月入学式では、昨年度に続き保護者の方々を会場にお迎えし、新たに本学吹奏楽部の演奏、クラブGroup Sounds SANNO (GSS)の合唱による校歌披露も加わり、新入生の入学を祝う在学生の思いを伝えることが叶いました。

現下、早くも前学期のまとめの時期に入り、1年生は初めての定期試験に臨むため用意周到の準備に余念がありません。2年生は後学期からの「コース」、「専門ゼミ」(科目名は学部によって異なる)等の決定に向け諸日程を進めています。大半の大学では、専門のゼミは大学3年次より開始されますが、本学では2年次後学期から「専門ゼミ」を開始し、じっくりゼミ活動に取り組む環境を用意しております。3年生は、学業のみならず、大学の諸活動の中心的役割を果たすべく、各行事の開催等に向け、様々取り組みを始めています。そのリーダーシップ・協働性、アイディアの独創性、丁寧な振り返りと引き続きの成果報告を聞く度に「学び合いこそ真の学びに通ずる」としみじみ思うところであります。今年の11月には、昨年度に引き続き、両キャンパスにて学園祭が開催されます。主催者に代わり、皆様の奮ってのご参加をお願い申し上げます。

卒年次を迎えた4年生は、大学生活の総仕上げの時期を迎え、限りある学生生活をいかに充実させようかと様々計画を練り実行に移しています。企業の採用活動の早期化も相俟って、現4年生の就職状況については、昨年同時期を上回る内定率を更新していると聞いております。引き続き各々のペースで納得いく就職活動ができるよう、両キャンパスのキャリアセンターはじめ、教職協働にて支援してまいります。現4年生の皆さんは、昨年度、3年次の1年間、クラブ・同好会、各種委員会・学生会活動等の課外活動において、コロナ禍による3年のブランクがあったため、先輩諸氏から各種行事運営のノウハウを引き継ぐことができませんでした。そのような環境下、皆々で試行錯誤の混沌を乗り越え、各行事を成功裏に運営した実績を有します。4年次になっても、傍らから後輩たちを支援する姿に本学学生の理想の姿を重ねる場面が多くあり、私共の大いなる励みにもなっております。

ご報告が恒例になりますが、『大学ランキング2024 (AERAムック)』朝日新聞出版社(2024年4月19日)によりますと、高校からの評価ランキング(大学通信調べ：順位は全国799大学中)において、「小規模だが評価できる大学」(8位)、「面倒見が良い大学」(9位)、「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」(13位)、「就職に力を入れている大学」(14位)、「教育力が高い」(29位)の高評価をいただきました。今後も、「実学教育」のパイオニアとしての矜持をもって、日々改善の手を緩めず、教職協働にて歩んでまいります。

今年度は、昨年度提示した本学における「生成AI」の使用に関する指針に沿い、実際の適正な活用等について共有化を図ります。また、今年から実施を再開した海外研修(グローバルインターンシップ含)をさらに充実化すると共に、今秋は1994年の姉妹校締結以来、長年教育交流を続けている銘傳大学(台湾)にダブルディグリー一期生を派遣する運びとなりました。これからも学生の安心安全を確保しながら、デジタル化、グローバル化が加速する時代の大転換期にあって、果敢にチャレンジし続ける本学学生をより一層多方面から支援してまいりたく存じます。

最後になりましたが、保護者の皆様には後援会を通じて本学の教育活動、並びに学生の活動、諸行事に多大なるご理解、ご支援を賜り、お陰様にて、様々有意義な活動が活発化し成果を上げております。この場を借りて、心より感謝申し上げますと共に、今年度も変わりませず、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。